## ＜通常の学級に在籍する配慮を要する児童の指導の流れ＞

**四月～五月**

**担任の気付き・特別支援教育 CO の観察・検討**

○担任・特別支援教育 CO・通級指導教育担当の実態把握

- 児童自身の直接観察
- 作品などの間接観察
- 同学年の先生との検討
- 課題と強みのピックアップ
- チェックリストの実施

経過観察

個別の支援が必要

**校内支援委員会での検討**

**五月～第一回授業参観・懇談**

情報の共有

○どんな内容の支援が必要か

○支援の場の検討

・特別支援学級？・通常の学級のみ？

・通級指導教室(個別指導)利用？

経過観察

**教育相談：保護者，本人との話合い**

学級での支援

医療・他機関

個別検査の実施

個別指導の開始

**保護者，本人との話合い**

学級での支援

個別指導の開始へ

**二学期～三学期指導・反省**

**個別の教育支援計画，個別の指導計画の作成**

○継続児童については第１回目の参観日に共通理解

○新規児童については随時時期を見て共通理解

**個別指導の実施**

○計画→指導→目標の見直し→目標設定→指導

PDCA サイクルで指導

**担任，特別支援教育 CO，通級指導教室担当による振り返り**

今後の検討

**二月授業参観～三月**

**保護者，本人，通級指導教室担当による振り返り**

次年度の準備

○第２回の参観日に来年度の指導の見通し，合理的配慮の要・不要について合意形成

---

**来年度個別の指導計画作成，合理的配慮シート作成**

○担任による支援シート記入(新規)加除修正(継続)資料①

○担任，特別支援教育 CO，通級指導教室担当で話し合いをし合理的配慮シート作成(新規)加除修正(継続)資料②

○個別の指導計画反省記入(担任,特別支援教育 CO,通級指導教室担当)

**卒業生引継ぎ資料作成**

○合理的配慮シートを見直し加除修正後、保護者と要・不要について合意形成して資料①②を引き継ぐ。

○個別の教育支援・指導計画を引き継ぐ。